

夏休みの課題帳がなくなる!? タブレット端末の持ち帰りについて

校長 谷口 源太郎

1学期もあと3週間ほどになりました。もうすぐ夏休みがやってきます。子どもたちの家族との触れ合い、お盆、墓参りなどの年中行事、キャンプ、海水浴など体験や経験が子どもたちの成長に様々な影響を及ぼすと言われています。今年の夏休みは、学校ではなかなか体験・経験できないことに取り組みさせていただければと思います。

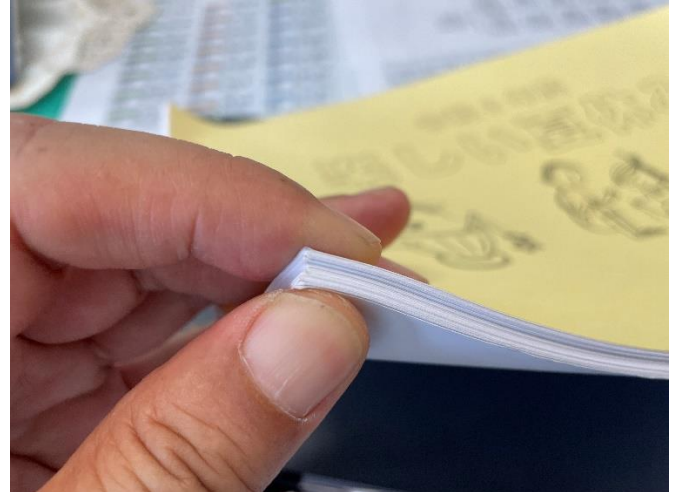
さて今回の話題は、「夏休みの課題帳がなくなる!?」というお話です。

6月23日付けの文部科学省から発出された文書によると、GIGAスクール構想で整備した一人1台のタブレット端末を子どもたちが積極的に利活用するために夏季休業中の家庭学習で活用できるよう持ち帰りを推奨しています。

本校でも学校ホームページでお知らせしていたとおり、今年の夏休みの課題帳については、5、6年生にタブレット端末を持ち帰らせて、ドリル学習部分をデジタルドリルで代用しようと考えています。簡単に言えば5、6年生の夏休みの課題帳がかなり薄くなるということです。



【昨年度の6年生夏休みの課題帳】



【全49ページの夏休みの課題帳】

昨年度の6年生夏休みの課題帳「楽しい夏休み」は全49ページでした。その内訳を見ると、

○生活のしおり・提出用紙等(7p) ○ドリル問題(19p)

○作品展、コンクール等の応募要領等(23p) 計49ページ

そのうちドリル問題(19p)分を課題帳からなくして全てデジタルドリルで代用できるようにする予定です。生活のしおり・提出用紙(7p)と作品展・コンクール等の応募要領等(23p)も将来的には、PDFデータとしてタブレット端末等に送信するか、学校HPに掲載していきたいと考えています。その結果、紙の夏休みの課題帳がなくなります。

実は、一部の先進校では2年ほど前からそのような形でタブレット端末だけを持ち帰っているとのことです。

今回タブレット端末を持ち帰る学年は5、6年生ですが、将来的には4年生や3年生でもそのようにできないか検討していきます。

家庭学習におけるタブレット端末の活用については、次の2点での活用を考えています。

【タブレット端末の主な活用法】

- ① これまで夏休みの課題帳につづられていた国語、社会、算数、理科、全20ページ弱のドリル問題を全てデジタルドリルで代用する。
- ② これまで手書きでまとめていた自由研究等の作品制作、調べ学習などの検索にタブレット端末を活用する。

①②のような学習活動にタブレット端末を有効に活用させたいと考えています。そのような取組をすることで、次のようなメリットがあると考えています。

【子どもにとってのメリット】

- ① デジタルドリルを活用することで取り組んだドリル問題の解答、解説をその場でしてくれる。
- ② タブレット端末を持ち帰ることで様々な調べ活動ができる。
- ③ 自由研究などの取材、資料作成などをタブレット端末を活用して作成することができる。
- ④ 夏休み期間もタブレット端末を活用するので操作スキルが向上する。 など

【学校としてのメリット】

- ① プリント作成の業務が削減できる。
- ② 1学年分で約5000枚の紙の節約、その印刷、丁合の業務が削減できる。
- ③ 誰がどこまで取り組んでいるのか、担任は進捗状況をタブレット端末内で把握できる。
- ④ 課題の採点・処理の業務が削減できる。 など

初めてのことなので様々な課題もありそうですが、取り組んでみないと分からない部分もあります。その都度、解決していこうと考えています。

今回は、夏休みにおけるタブレット端末の持ち帰りですが、今後は学期中も日常的にタブレットを持ち帰ることに繋がっていきます。なぜかという学習者用デジタル教科書が、現在、英語と音楽で導入されています。2025年までには、すべての紙の教科書がデジタル化される見込みです。そうなれば当然のことながら、子どもたちのランドセルの中には紙の教科書は入っておらず、タブレット端末と筆記用具だけになると思われます。今回の夏休み期間中のタブレット端末の持ち帰りには、将来的なそのような意味も含まれていることを知っておいていただければと思います。

詳細な持ち帰りの方法については、別途プリントを配布しますのでそちらをご覧ください。なお、不明な点は担任等にお問い合わせください。

【夏休みの家庭学習】5, 6年生でのタブレット端末の持ち帰りによってドリル部分をデジタルドリルが代用し、調べ活動等へも活用できる 2022年07月21日

【アナログ】昨年度の夏休みの課題帳

【アナログ】国、算、社、理の課題プリント

【デジタル】デジタルドリルで代用する

タブレット端末持ち帰りのよるメリット

【教師側】

- ①プリント作成の業務削減
- ②紙の削減、印刷、丁合の業務削減
- ③進捗状況をタブレット端末内で把握可能
- ④夏休みの課題処理の採点業務の削減 など

【児童生徒側】

- ①取り組んだ問題の解答、解説をその場でできる。
- ②様々な調べ活動が可能
- ③自由研究などの取材、資料作成などが可能
- ④夏休み期間も操作スキルが向上 など

【デジタル】タブレット端末の持ち帰り調べ学習、作品制作等にも活用